

カフェじゃなくてワーキングスペースに行く意味は？

「もっと滋賀のワーキング情報が見たい!」方へ。

COWORKING SHIGA

http://coworking-shiga.com/

ワーキング滋賀

検索

ECサイト運営者
学生
オーナー
ライター
WEB製作者

オーナーさん! ワーキングの魅力を教えて!



守山市のワーキングスペース

ROOTの魅力

“イノベーターのトキワ荘”として。

URL: <http://root-coworking.jellybean.jp/>



手塚治虫や赤塚不二夫など、有名な漫画家が駆け出し時代に時間を共有したトキワ荘という場所。そこはおそらくそれぞれが刺激をしい良いもの生み出していく場所だったのでしょ。

個人で仕事をしている人にとって、ワーキングはまさに! そんな刺激をし合える場所だと思っています。

集う人が女性でも男性でも、子連れでも、学生でも、普段は会社員でも、どこの国の人でも! その人のバックヤードもまるごと全てが魅力であり刺激を生みます。入居者もドロップイン利用者も、業種は様々なので、なかなか…被りません(笑)

そんな中で互いを尊重し合い、多様な価値観で刺激し合う。

そこから生まれる“何か”が個々の事業や活動のスパイラルアップを巻き起こしていく…そんな場所でありたいと思っています。



瀬田のワーキングスペース

マグハウスの魅力

マジワリ、マナブ。

URL: <http://maghouse.jimdo.com/>



僕が、マグハウスを始めた最初のきっかけは、単に空き時間のスペース活用としてでした。僕の本来は教育系NPOとして先生や、先生をめざす学生のサポートです。オープンするまでは、学生の面接や、先生向けの勉強会、コンサル、事務所としてしか使っていませんでした。ワーキングスペースとして単純におもしろい人が仕事に来て、化学反応が起きれば楽しいなと思って始めたのですが、いざ始めてみると運営のコンセプトにすごく迷うことに。その中でも、僕自身教育系NPOに関わっているだけに利用者さんには仕事“プラスα”の学びを持って帰ってほしい。随分と悩みましたが今ははっきりと言えます。「マジワリ、マナブ」がコンセプトであり、マグハウスに込めた想いです。今は先生や学生が多いですが、フリーランスの方や主婦の方にも利用していただきたいので、そういった方が来やすい仕掛けも打ってまいります。



彦根市のワーキングスペース

andanteの魅力

ふらっと立ち寄れる場所。

Facebookで「andante ワーキング」で検索。



私の本業は心理カウンセラー、アドラー心理学のセミナー講師です。活動していく中で自身のセミナー兼カウンセリングルームの必要性を感じ、探していた中でカラオケスタジオパルのオーナーさんから話を頂きワーキングスペースを始めることに。

カウンセリングにこだわらなくても、ふらっと来て話すだけで気持ちが軽くなることもあるし、ちょっと話したり、たくさんの方が交流したり仕事ができる場で、イベントをしたりする中で共同事業ができたり各自の広がりやステップアップの場になればという想いからオープンしたのでお気軽にお越しください。

(カラオケなのでフリードリンクの種類が満載です 笑)



湖南市のワーキングスペース

今プラスの魅力

自分の経験に更にプラスになる場所。

URL: <http://start-now.link/>



今プラスという場所は元々個人でしていたWEB製作会社を法人する為に事務所を借りたことでした。場所が広がった時にスペースの活用法としてワーキングスペースを知り、今プラスを事務所兼として立ち上げることに。

始めて半年ほどは全く誰もいない日々となりましたが、オープンしてから1年と半年少し。最近は毎日誰かが訪れ、偶然5人以上が利用するまぐれの日というものも存在しています。

今プラスが目指すのは、知らない人同士が出会い、新しい何かを始めたり学んだりして自分の経験として「プラス」になるものが誕生すること。湖南市だから人が集まらないのではなく、湖南市でも人が集まって仕事をしながら新しい「何か」が生まれたら。この素敵な働き方は日本全国どこでも出来る、そんな風に僕は勝手に思っています。



稲枝のワーキングスペース

センゴクの魅力

新しいアイデアが出てくる場所。

Facebookで「センゴク 稲枝」で検索。



はじめまして、センゴク@稲枝の堀口です。

私がワーキングスペースを知ったのは、今から約2年前の2013年! 大学時代に住んでいた名古屋で、Art Factoryというワーキングに出会いました! 当時、私もフリーでWEBや紙のデザインをしていたこともあり共同で仕事をする事の楽しさ、また話合うことで新しいアイデアが自然と溢れてきました。

人が集まれる場所作り、一緒に仕事をできる仲間が欲しい、デザイン・技術力スキルUPが出来る学びの場! を目指して家の物置きになっていた空き部屋を改装してセンゴクをスタートしました!

戦国時代の群雄割拠の時代のように、地方でも個の力の集結で、一石投じていきたい! との想いから、名付けたセンゴクという名前。稲枝のワーキングスペースから色々なアイデアを出していきます!



彦根市のワーキングスペース

納屋七の魅力

18世紀末の建物で作業してみませんか。

URL: <http://www.naya7.com/>



納屋七は16畳の広さの板の間がWiFi自習室・自働室があるワーキングスペースです。「町家点描」という書籍を参考するに18世紀末の作りと推定される納屋七はもしかすると全国のワーキングスペースで一番古い建物かもしれません。滋賀大経済学部がすぐ近くにあるので今後は大学生の利用者増加も期待しています。設備としてはKindleの施設内提供やWebプリントを使ったプリンタドライバのインストールなしでのPCからの印刷を行える環境など作業が行いやすいワーキングスペースとしても整えています。またさらに土間を挟んだ旧使用人住居屋に3間のしつらえ洋室があって、教室や講座に提供しています。それらとの関わりのなかで、ENGLISH ONLY DAYの曜日を設けたり、グループでRUNイベントの準備工程をこのスペースで行ったりすることで利用者を少しずつ増やしていきたいと思っています。



ひよこ屋×ROOT

「視野が広げられる場所」

「自宅よりも別の場所にオフィスを借りたい。」そんな時に発見したのがROOTでした。私は主に子供服の販売をネットショップで行っており他にも着物や日本のビンテージ雑貨を海外に販売しています。事務作業や打ち合わせなどが多いのですが1人でオフィスを借りて運営するのは資金や人手の面でハードルが高い。でもワーキングスペースであれば価格も抑えてなおかつ自宅でひとり作業をしているとついつい視野が狭くなるところを適度な距離感でいろんな方とコミュニケーションがとれ、情報をシェアしたり、困ったことを相談したりできます。一人で何かをはじめたりスタートアップ期のオフィスとして効率的に使えるところかと。ただどうしても自宅から少し遠いので往復に時間がかかる部分はデメリットかも。でもその移動距離も考え事ができる時間、一息つける時間と考えれば悪くないのかもしれない。

深田昌雄さん×andante

「カラオケボックスの新しい形」

私は彦根でカラオケスタジオPALの運営を行っているのですが以前から「カラオケ利用以外で使ってもらえる形はないか?」と模索していました。そんな時に、ROOTさんで行われたワーキングスペース勉強会に参加し、ワーキングという言葉を知りました。ただ自分で始めるよりも、andanteの木村さんの方がいろいろな事をされてるのでこの先が良い意味で未知数で面白いと思いつつことに。

ワーキングスペースを使って、イベントをしたり、スペースとして開放することで思い描いたカラオケ以外のたくさんの方の出会いがあったのは本当に大きなメリットだったと思います。デメリットとすることは基本的にはないですね(笑) これからも利用者が増えてカラオケ×ワーキングスペースとして新しい出会いが誕生していければと思います。



松岡人代さん×今プラス

「独立1年目の救世主的存在」

高知県から滋賀県に戻ってきて始めたライターという仕事。それまではどこかに勤めてという形で働いていたので、独立は手探り状態すぎて仕事としては何が良いのかは正直まだわかりません。そんな時に今プラスを訪れてワーキングスペースという場所を初めて使いました。作業するだけという場所ではなく、私にとっては相談場所のような感じです。他の人の話を聞いて文字にするお仕事をしていますがやっぱり人に相談するというのはとても大切なことです。友達とか知り合いはそんな面と向かって恐ろしいダメだしはしないし、自分が「これどうだろ」と思っているものでも今プラスでチェックしてもらえればちゃんと通っているからダメじゃない、出せると。他にも色々な職業の人と話せたり。自分の幅が広がっていくのはワーキングだからかなと思います。そういう意味でも独立当初の方などオススメの場所ですよ。



濱本海さん×マグハウス

「刺激が溢れています!」

私は今、滋賀大学の4回生で、小学校の先生をめざしています。大学の中にもフリースペースはあるのですが、大学生としか話せないし、カフェだと他のお客さんと話すってことは出来ない。でも、ここならいろんな人がおるっていうのが理由です。話せる人も皆職業、年齢などバラバラでかなり刺激になっています。また僕が特に感じるのは本当に向上したいなって人がたくさん来られてるイメージ。学生でもやっぱり自分たちで見つけて、主体的に生きてる人が多いので、僕はその人たちと話をしたりとか、その人たちがどんなことをしてるのか知るのが楽しみっていうか。ここへくる一つの目的になっています。自習もできるしなによりかたくなしくないところも魅力です。



藤田篤さん×今プラス

「僕の新しい仕事場」

僕は甲賀市で主にWEBや印刷物のデザイン制作をしています。元々は大阪の制作会社に働いていたのですが一念発起して地元甲賀市で始めました! ただ地元に戻った方がいいけれどツツはないし、周りに同じようなWEBやってるフリーランスはいないしで困っていました。そんな時に今プラスを発見して週一ぐらいで利用するように。ワーキングの良さは何より人がいて、喋れること。一人で仕事しているとその部分は本当に実感します。後は出会えないと思っていたWEB製作の方とも会えたりというのもメリットです。個人的にはもうちょっと遅くまでしてたらなーとか思いつつも(笑)。ワーキングで仕入れたアイデアや情報を元に将来的にはWEBを使った地域貢献もできたらと考えています。